



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月27日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社

コード番号 8090 URL <http://www.shoko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂井 伸次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 川口 鉄二

TEL 03-3459-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	33,869	△3.1	668	△5.0	656	△1.8	414	0.5
23年12月期第1四半期	34,940	△1.5	703	20.8	669	21.4	412	31.4

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 691百万円 (101.0%) 23年12月期第1四半期 344百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	3.75	—
23年12月期第1四半期	3.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	62,422	15,432	24.6	140.47
23年12月期	56,931	15,543	27.2	139.24

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 15,387百万円 23年12月期 15,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年12月期	—				
24年12月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	71,700	2.1	1,020	△5.4	1,020	△5.5	550	△12.7	4.94
通期	145,700	4.6	2,000	9.7	1,930	12.4	1,030	△23.7	9.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期1Q	112,714,687 株	23年12月期	112,714,687 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	3,174,329 株	23年12月期	1,351,436 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期1Q	110,451,330 株	23年12月期1Q	111,371,516 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、〔添付資料〕3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、債務危機による欧州経済の停滞及び中国経済の減速により依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、東日本大震災による停滞からの回復及び超円高解消の兆し等が表れてきております。

このような状況の中、当社グループでは、5ヵ年の中期経営計画の2年目として引続き、「事業構造変革の推進」、「海外事業への更なる取り組み」及び「新規商材の拡充」等に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は338億69百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は6億68百万円（前年同期比5.0%減）、経常利益は6億56百万円（前年同期比1.8%減）、四半期純利益は4億14百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(化学品)

化学品部門につきましては、化学品関連は、円高による輸出環境の悪化が継続し低調に推移しました。

科学システム関連は、昨年譲り受けたショウデックス機器事業が順調に推移しました。また、ワイアット品、ビーエスエス品の販売が順調に推移し、増収となりました。

肥料農材関連につきましては、主力事業の肥料は、大雪の影響で受注及び出荷に遅れが生じたことと、農産物価格の低迷に伴う生産者の収益悪化で購買意欲が減退したことにより減収となりました。

以上の結果、売上高は82億57百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は2億93百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

(合成樹脂)

合成樹脂部門につきましては、後半に海外市況の上昇により先取りに伴う販売があったものの、全体としては包装資材等の国内需要が完全に回復していない影響もあり低調に推移しました。一方、合成樹脂関連商材につきましては、三国間取引が好調に推移し、増収となりました。また、開発につきましては、エンブラ事業の開拓に引き続き注力しております。

以上の結果、売上高は113億99百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は75百万円（前年同期比46.4%減）となりました。

(金属)

金属部門につきましては、軽金属関連は需要家の生産減少等により2次合金、アルミ箔等の販売が減少しました。

無機材料関連は、レアアースの国際市況が急落しており、かつ需要家の買い控えと在庫調整により大幅な減収となりました。また、研磨材、電極等につきましても低調に推移し減収となりました。

以上の結果、売上高は73億42百万円（前年同期比23.4%減）、営業利益は68百万円（前年同期比54.7%減）となりました。

(生活環境)

生活環境部門につきましては、住宅建材関連は、ジャストベース（固定柱脚）、アルミ建材、ポール等の販売が減少しました。

食品関連は、主力のリンゴ酸の復調、メープル製品の新規販売を開始しましたが、コラーゲンについては、震災の影響によりサプライヤーの設備が引続き停止したことにより、減収となりました。

以上の結果、売上高34億65百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は1億35百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

(情報電材その他)

情報電材その他部門につきましては、エレクトロニクス関連は、液晶TVの販売不振からLED需要が減退し、その影響でLED、サファイアインゴットとも低調に推移しました。一方、光焼成装置、クリーンルームの販売については、好調に推移しました。

その他事業に含まれる連結子会社につきましても、昭光通商（上海）有限公司の鉄鋼原料等が好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、売上高は34億4百万円（前年同期比42.5%増）、営業利益は96百万円（前年同期比137.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、624億22百万円（前連結会計年度末比9.6%増）となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が増加したことが主因であります。

負債は、469億90百万円（前連結会計年度末比13.5%増）となりました。これは、「短期借入金」が増加したことが主因であります。

純資産は、154億32百万円（前連結会計年度末比0.7%減）となりました。これは、配当金の支払いが主因であります。

この結果、自己資本比率は2.6ポイント下降して24.6%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、東日本大震災からの回復が表れてきておりますが、欧州経済の停滞等当面の間は不透明な経営環境下で推移するものと予想されます。

このような情勢のもと、当社グループは、平成27年を目標年度とした中期経営計画を着実に実行してまいります。

現在の見通しでは、平成24年2月9日の決算発表時に公表しました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,248	3,839
受取手形及び売掛金	37,477	42,084
商品及び製品	3,337	2,912
販売用不動産	12	12
仕掛品	110	123
仕掛販売用不動産	273	353
原材料及び貯蔵品	278	249
その他	2,722	2,249
貸倒引当金	△123	△131
流動資産合計	46,338	51,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,667	1,641
機械装置及び運搬具（純額）	95	103
土地	4,900	4,900
その他（純額）	100	100
有形固定資産合計	6,763	6,746
無形固定資産		
のれん	50	47
その他	253	261
無形固定資産合計	304	308
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050	2,412
長期貸付金	21	21
繰延税金資産	314	217
その他	1,279	1,153
貸倒引当金	△140	△132
投資その他の資産合計	3,524	3,673
固定資産合計	10,592	10,728
資産合計	56,931	62,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,727	31,440
短期借入金	2,675	7,697
未払法人税等	202	317
賞与引当金	162	352
その他	2,083	1,721
流動負債合計	35,851	41,530
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	796	829
その他	2,739	2,630
固定負債合計	5,536	5,459
負債合計	41,388	46,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	6,789	6,646
自己株式	△220	△464
株主資本合計	14,591	14,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	264
繰延ヘッジ損益	△0	2
土地再評価差額金	839	839
為替換算調整勘定	△17	76
その他の包括利益累計額合計	914	1,182
少数株主持分	37	45
純資産合計	15,543	15,432
負債純資産合計	56,931	62,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	34,940	33,869
売上原価	32,547	31,482
売上総利益	2,392	2,387
販売費及び一般管理費	1,689	1,719
営業利益	703	668
営業外収益		
受取利息	10	14
受取配当金	6	11
持分法による投資利益	10	0
雑収入	5	8
営業外収益合計	32	35
営業外費用		
支払利息	38	26
為替差損	18	9
雑損失	9	10
営業外費用合計	67	46
経常利益	669	656
特別利益		
貸倒引当金戻入額	44	—
受取損害賠償金	—	67
その他	5	—
特別利益合計	49	67
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
災害による損失	3	—
契約等解除損失	—	42
その他	0	0
特別損失合計	6	42
税金等調整前四半期純利益	711	681
法人税、住民税及び事業税	337	332
法人税等調整額	△35	△72
法人税等合計	302	260
少数株主損益調整前四半期純利益	409	421
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	7
四半期純利益	412	414

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	409	421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	173
繰延ヘッジ損益	4	3
為替換算調整勘定	2	92
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△65	270
四半期包括利益	344	691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345	682
少数株主に係る四半期包括利益	△1	9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,975	10,425	9,589	3,560	2,389	34,940	—	34,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	3	0	3	77	96	△96	—
計	8,986	10,429	9,590	3,564	2,466	35,036	△96	34,940
セグメント利益	249	140	151	122	40	703	△0	703

(注) セグメント利益の調整額△0百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,257	11,399	7,342	3,465	3,404	33,869	—	33,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	4	0	2	65	87	△87	—
計	8,271	11,404	7,342	3,467	3,470	33,956	△87	33,869
セグメント利益	293	75	68	135	96	668	△0	668

(注) セグメント利益の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。